

2015. 5. 31

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2111 FAX083-932-2817

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

「子ども読書支援センターニュース」は、メールマガジン「本はともだち」でも読むことができます。
 新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★幼児のためのおはなし会

- 日 時：6月2日（火） 11:00～11:20
- 会 場：山口県立山口図書館 こどもとしょしつ
- 対 象：2、3歳児とその保護者
- 内 容：絵本の読み聞かせなど

【新刊紹介】 価格は消費税抜き

<絵本-乳幼児から>

『はいくないきもの』 谷川俊太郎/文 皆川明/絵 クレヨンハウス 2015.4 ¥1,200

おしめしべ まだのんなりむ かふっふん、ふんむふん そらもぶびーぽ。虫？鳥？空を飛びたい、匂いを嗅ぎたい…強く願ううちに、耳や鼻が大きくなり、ちょっと変わった前衛的な姿形になった生き物達。不思議な言葉は、五七五の俳句調。ファッションデザイナー・皆川明と、詩人・谷川俊太郎が赤ちゃんに贈る、ナンセンスなイマジネーションの世界。

<絵本-3, 4歳から>

『おばあさんのひっこし』 エドナ・ベッカー/作 神沢利子・山田ルイ/訳 白根美代子/絵 福音館書店 2015.4 ¥800

赤い小さな家に住むおばあさんは、家が古ぼけたので、可愛がっている猫と雌牛とロバを連れ、引越しをすることにした。最初に見つけた黄色い家を、おばあさんは気に入ったが、ロバが文句を言った。仕方なく引越した次の家では雌牛が、次々に引越しを繰り返すうち、最後に行き着いたのは、最初こいた家で…？明るい色彩の絵、繰り返しのストーリーが楽しい。

<絵本-5, 6歳から>

『しんぞうとヒゲ アフリカの民話』 しまおかゆみこ/再話 モハメッド・チャリンダ/絵 ポプラ社 2015.4 ¥1,400

昔、あるところに「心臓」と「ヒゲ」がいた。腹ぺこで死にそうなるヒゲに食われそうになった心臓は、驚き、慌てて逃げた。そして人間の男に「私を飲みこんで、体の中で匿って下さい」と頼み…。奇想天外なタンザニアの民話。ペンキを使い、豊かな自然や動物、人々の生活を色鮮やかに描くアフリカの現代アート、ティンガティンガ・アートが強烈な印象を残す。

<絵本-小学校低学年から>

『たんぽぽ』 荒井真紀/文・絵 金の星社 2015.3 ¥1,200

たんぽぽの綿毛を、そっと吹いてみよう。ふわふわふわ、綿毛がパラシュートのように次々と飛び立って、一粒ずつ種を運んでいく。地面に落ちた種は、冬の間、土の中に根を伸ばして、葉を広げ…。春に花を咲かせ、枯れると綿毛を飛ばし、新しい命を運ぶたんぽぽの一生を、美しい細密画で丁寧に描いた絵本。たんぽぽの観察に役立つヒントがいっぱい。

<絵本-小学校中学年から>

『世界のまんなかの島 わたしのオラーニ』 クレア・A.ニヴォラ/作 伊東晶子/訳 きじとら出版 2015.3 ¥1,800

私のお父さんの故郷、イタリア・サルデーニャ島の小さな村オラーニ。パンを焼くおばさん達に、輪になって踊る結婚式…。迷路のような石畳の路地へ駆け出せば、角を曲がるごとに心踊る情景が待っている。私はこの村が大好き！作者はアメリカ生まれ。村で過ごした幼い頃の思い出を描いた本書で、ポーロニャ・ラガッツィ賞ノンフィクション部門優秀賞受賞。

『ともだちはうま』 村上しいこ/作 田中六六/絵 WAVE 出版 2015.3 ¥1,100

ともだちシリーズ第五弾。今回は、わにのきよしくんがしまうまのたかしくんと野菜の早食いの勝負。もちろん、野菜を食べられないきよしくんは負けてしまうのだが、それで終わらないのがきよしくん。嫌いな野菜を全部無くすために、リヤカーで野菜を売りに出かける…。乱暴だけど、心優しいきよしくんが大好きになる。

<読み物-中学年から>

『四年変組』 季巳明代/作 こみわゆら/絵 フレーベル館 2015.2 ¥1,200

「四年二組寺山れい子学級」は、担任の先生を含め、変わり者が多く、いつの間にか「四年変組」なんて呼ばれるようになってしまった。新しいお母さんとの関係に悩むしっかり者の勇気、忙しい母親にかわって、妹のお世話に奮闘するゆかり、私立中学受験にむけて猛勉強中の由香…。家族や友だちを思いやる気持ちに満ち溢れたお話が6篇。作者は、毎日童話新人賞優秀賞、新美南吉童話賞特別賞受賞。

<読み物-高学年から>

『菜の子ちゃんと龍の子』 富安陽子/作 YUJI/画 福音館書店 2015.3 ¥1,200

5年の秋、突然トキ子の教室に座っていた山田菜の子。トキ子は菜の子に頼まれ、龍泉寺のお祭りの夜、空にのぼれなくなった龍の子を助けに行くことに…。不思議な一晩の冒険の後、姿を消してしまった菜の子。あの子は本当にいたのか？今回の舞台のモデルは、修験者たちの集まる、奈良県天川村。現地取材の成果をもちこんだ迫力ある挿絵を満載。「菜の子先生」の子ども時代を思わせる「菜の子ちゃん」が大活躍する新シリーズ「日本全国ふしぎ案内」の第1巻。

『さくらいろの季節』 蒼沼洋人/著 ポプラ社 2015.3 ¥1,400

6年生の教室でくりひろげられる様々な出来事が、主人公のめぐみの視点で描かれる。親友の転校、金髪に染めてきた同じ班の子との関わり、完璧に見える転入生の寂しさ…。事件が起こったときの子どもの反応が、どのクラスでもありそうで、読み応えのある1冊。作者は、本作品で、2014年第4回ポプラズッコケ文学新人賞「大賞」を受賞。

<読み物—中学生から>

『向かい風に髪なびかせて』 河合二湖/著 講談社 2015.3 ¥1,450

中2の少女たちにとって「可愛い」ということは大問題。ナチュラルなかわいさが持ち味の小春、誰もが振り向く美人の優貴、化粧や衣装に凝る夢美、みんなに可哀想と思われる容姿の野乃。生まれ持った自分の外見をどう受け入れどう生きていくか。それぞれの心の叫びを細やかに描く。『バターサンドの夜』で講談社児童文学新人賞を受賞した山口県出身の作家。

『ぼくと象のものがたり』 リン・ケリー/作 若林千鶴/訳 鈴木出版 2015.3 ¥1,600

妹の治療費のために1年間、サーカスで働くことになったぼく(10歳)は、子象の捕獲を手伝い、その飼育を任された。鎖につながれ、調教のためフックで傷つけられる子象ナンディタを、ぼくは守ってやると誓った。児童労働や違法な密猟が行われている現代のインドを舞台に、家族から引き離された少年と子象の絆を描く。鈴木出版の海外児童文学。

<ノンフィクション—小学校中学年から>

『むかしのくらし思い出絵日記3学校と毎日の遊び』 たかいひろこ/著 ポプラ社 2015.3 ¥3,000

関西地方にすんでいた著者が、約50年前の、自身の経験をもとにむかしのくらしを描く。学校での一日の過ごし方、放課後、近所で遊ぶ様子などを、たくさんのイラストで紹介。むかしのくらしの様子を学習する、中学年の社会科や総合的な学習で活用できる。1巻「おばあちゃんの家わたしの家」、2巻「春夏秋冬の行事と食べもの」の全3巻。

<ノンフィクション—小学校高学年から>

『自動車まるごと図鑑』 黒川文子/監修 ポプラ社 2015.4 ¥4,800

自動車工場や世界の自動車事情、エコカーなど自動車にまつわるさまざまな情報を、写真やイラストとともに紹介。5年社会科の学習に役立つ。また、はたらく車の写真には、車のつくりや、働きがわかりやすく書かれており、1年国語科の「じどう車くらべ」で、説明文を書くのにも活用できる。

<ノンフィクション—中学生から>

『THE BOOKS green 365人の本屋さんが中高生に心から推す「この一冊」』 ミシマ社/編 ミシマ社 2015.4 ¥1,400

一人でも多くの中高生に、人生を変える「一冊」との出会いを届けたいという想いで全国365書店の書店員が選定した推薦図書。「この一冊+その次に読むことをオススメする一冊」を、直筆のキャッチコピーとともに紹介する。各書店の情報も掲載。2012年刊の『THE BOOKS-365人の本屋さんがどうしても届けたい「この一冊」』の姉妹版。

<研究書>

『紙芝居入門2 おすすめ紙芝居400冊』 子どもの文化研究所/編 一声社 2015.3 ¥2,000

あらずじと作品の特徴、枚数と上演時間のめやす、キーワード等を記載したおすすめ紙芝居を50音順にカラーで紹介。ジャンルやテーマ別の索引があり、紙芝居を選ぶ際の手引き書となっている。たくさんの紙芝居作家の声も集録。『紙芝居入門1—演じ方のコツと基礎理論のテキスト』は、『紙芝居—子ども・文化・保育』(2011年)の改題新装改訂版。

『心をはぐくむ小学校劇1年 全員参加』 北島春信/監修 小峰書店 2015.4 ¥3,600

昔話をもとにした「たぬきばやし」やオペレッタ「つばめとゴム風船」など、名作脚本から新作脚本までバラエティーに富んだ20作品を、指導ノートや楽譜とともに掲載。上演時間は10分から25分まで、出演人数も7人から大勢まであり、様々な場面で活用できる。1年生から6年生まで全6巻。各学年に応じた19点程度の作品と英語遊びが収録されている。

【県内の動き】

★講演会「小学生への読み聞かせ ～読み聞かせからひとり読みへ～」

○日 時：6月9日(火) 10:30～12:00

○会 場：光市教育委員会ホール

○講 師：前園敦子氏(子どもの本専門店代表)

○問合せ先：光市立図書館(電話 0833-72-1440)

★子どもと本をつなぐトークセッション

○日 時：6月9日(火) 13:30～15:00

○会 場：光市教育委員会ホール

○登壇者：波賀稔(鈴木出版編集長) 前園敦子など

○問合せ先：光市立図書館(電話 0833-72-1440)

★第2回 絵本でわくわく子育て講座 ～1歳までの絵本よみ～(全6回講座)

○日 時：6月13日(土) 13:30～15:00

○会 場：山陽小野田市立中央図書館

○講 師：村中李衣氏(児童文学作家)

○定 員：30名(要申込・子供同伴可)

○問合せ先：山陽小野田市立中央図書館(電話：0836-83-2870)

★実は奥が深い学校図書館の基本のキ

○日 時：6月24日(水) 10:30～12:00

○会 場：新南陽図書館 視聴覚室

○講 師：梅本恵氏(ぱっちわーく事務局)

○主 催：学校図書館を考える会・周南

○問合せ先：学校図書館を考える会・周南(電話・手嶋：0834-61-0021)

★おとなのためのおはなし会

○日 時：7月7日(火) 10:30～

○会 場：山口県立山口図書館 第1研修室

○主 催：ストーリーテリングの会 おはなし小箱

○問合せ先：ストーリーテリングの会 おはなし小箱(電話・山本：083-923-0093)

※子どもの本や読書についてのイベント情報をお寄せください。